

第36回サフォークランド士別ハーフマラソン大会

【出場結果】

実施日 : 7月23日(日)

コース : 日本陸上競技連盟公認ハーフマラソンコース(士別市内周回)

出場者 : 加藤 平 坪井 響己

リザルト:

	坪井	加藤
タイム	1:04'38"	1:05'45"
順位	8位/143名 (日本陸連登録者の部:入賞)	19位/143名 (日本陸連登録者の部)

【レポート】

今季の前半シーズン締め括りのレースとして、加藤と坪井の2名の選手が士別ハーフマラソン大会に出場しました。

昨年度の本大会では、小雨交じりの中、20度を切った絶好のコンディションとなり、大会記録の上位10傑を塗り替える記録ラッシュに沸きましたが、今年度は朝から強い日差しが降り注ぐ暑さ中、強風にも見舞われ厳しいコンディションの中でレースはスタートしました。

加藤と坪井は秋のロードシーズンや冬のマラソンを見据え、序盤はレースの流れに乗って走り、きつくなる中盤から後半にかけて、ペースの落ち込みを抑えて走れるかを課題に挙げてレースに臨みました。



強い日差しと風が吹き付ける中、各選手が一斉にスタート

ShinDengen

ハーフマラソンのコースは土別市内の約 10 キロのコースを 2 周する中で、急なアップダウンが 2 km~4 km と 12 km~14 km にあり、ここでペースを落とさずに走り切ることが好記録を出すポイントとなります。

暑さと風が吹く中、先頭を走る外国人選手もペースが上がらず、10 km 地点を 29 分 40 秒台での通過となる中、坪井が 30 分 20 秒、加藤が 30 分 45 秒程度で通過し、2 名とも余裕のある走りが出ており、中盤から後半にかけての走り次第では好記録の期待が高まりました。



10 キロ地点では第 2 集団で積極的な走りをする坪井



大集団の中、落ち着いた走りを見せる加藤

ShinDengen

坪井は 10 km通過後も第 2 集団で粘り切り、3 分 3 秒/kmのペースを殆ど落とさずにレースを進めると、強い向かい風が吹き付けるラスト 500mの直線では 2 名の選手に抜かれたものの、入賞ラインをキープする総合 8 位 1 時間 4 分 38 秒でゴールしました。

序盤は抑え気味のペースで走っていた加藤も 12 kmすぎの上り坂でペースをあげ、後半は自身のペースをしっかりと刻む力走をみせ、総合 19 位 1 時間 5 分 45 秒でゴールしました。



最後まで力強い走りでゴールに向かう坪井



終盤も崩れることなく、安定感のある走りをみせた加藤



坪井選手 8位入賞!!!おめでとう!!!

【総評】

結果として坪井が8位入賞、加藤が19位という順位となり、チームとしての課題でもあった「レースコンディションに左右されないタフな走り」を結果で証明してくれました。

7月に入り暑さが本格的になる中、早朝と終業後の時間を上手く使って、暑さの中でも地道な走り込みを行うことが出来たからこそ、今回のような過酷なレースコンディションでも結果を出すことが出来たと感じております。

今後の予定として、チームは8月11日～16日まで夏季休暇を利用して長野県上田市菅平高原で強化合宿を予定しています。

11月3日に開催される東日本実業団対抗駅伝競走大会までは残り3か月強です。

昨年度の駅伝で味わった悔しさを晴らすために一日一日を大切にして、日々のトレーニングに邁進して参ります。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以上